

岩内町の歴史を学ぶ(4年生 社会科)



4年生は社会科の学習で「地域の発展に尽くした先人」について学ぶことになっています。今回、子どもたちは岩内町でニシン漁の発展に尽くした人や岩内町を発展させた人アスパラガスの生産に取り組んだ人について学習しました。



(1) 岩内町の発展につくした人々

冷の岩内町の発展があるのは、先人たちのおかげです。ここでは、その功績が大きかった人々について紹介します。

①佐藤に支那門
佐藤家は、岩内町の発展のための仕事をしました。1823(文政6)年、秋田県より仁左衛門が岩内に移り住み、産業と地域の開拓に力を注ぎました。
初代に左衛門は、ニシン漁業の発展につくしました。豊漁が続いたこともあり岩内への移住者が増え、移住者を受け入れるために橋を架けました。
2代目に左衛門も漁業の発展を促しました。また、産業を盛んにするため、自分のお金で岩内と海部、岩内と余部につながる道路を開きました。岩内の近くに茅葺山が築かれ、それらへの道路も開拓して人の行き来が増えていきました。

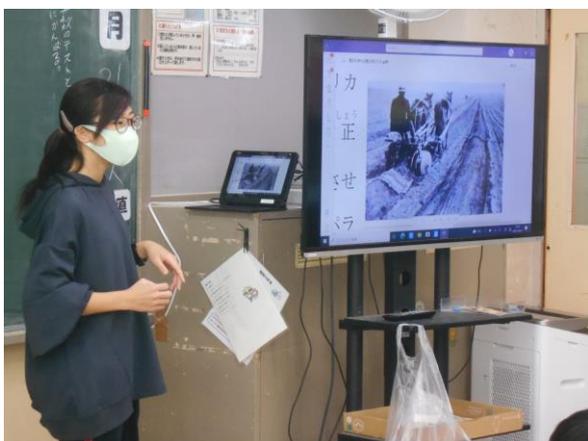
5 昔から今へ続くまちづくり

ここで学習すること

- 岩内の先人たちの働きや苦労、工夫について調べてみましょう。
- 岩内の歴史についての調べ方を学習しましょう。

このタブレット、タブレットを見ながら読んでみましょう。

このタブレットを見ながら読んでみましょう。



今日の学習では岩内町教育委員会より支給されたタブレットPCをテレビにつなぎ、スクロールをしたり大切な部分を拡大したりしながらデジタル黒板のような活用をして学習していました。これまでの学習を振り返ったあとは単元のまとめのテストに取り組んでいました。

